

劑

おんザイ

いみとじゅくご
▼割り符。手形。

▼薬を調えること。薬。

薬剤：調えられた薬。処方箋

(せんばう)により調合された薬。

はねる

10画 **ニ**
文
文
文
文
文
文
文
文
文

鏡剤：粒の薬。「錠」は、一定の型に入れて固めた物。球状。

調剤：薬を調合すること。

下剤：下し薬。

配剤：薬を配合すること。

じて、物事をうまく操作す

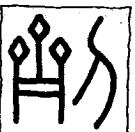
ること。

用例 天の配剤。(人)

間わざとは思えないほど世

の中や人の運命がうまく組

み合わされていること。)



なりたち 旧字体は剤。どこのえる意味の齊(さい)(吳音)漢音はセイ)と、刀の形を表した(りつとう)との会意形声字。二つに切って調える手形を表した字。互いに後の証拠に(りんごう)に後(のち)の証拠(しめう)に(せんばう)により調合されたもの。転じて、薬草を切つて調える意味。

劑

おんサイ

いみとじゅくご
▼神を祭る。

斎主：神を祭ることをつかさどる人の頭。伊勢神宮(ひぜい)

の神官の長。

斎場：神を祭るためにはらうよめた庭。また、葬式の会

11画 **ニ**
文
文
文
文
文
文
文
文
文

のえる意味の齊(さい)と、神の意味の示(しめす)との会意形声字。

心身をどとのえて神を祭

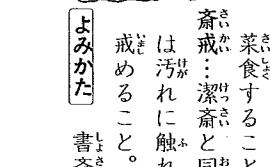
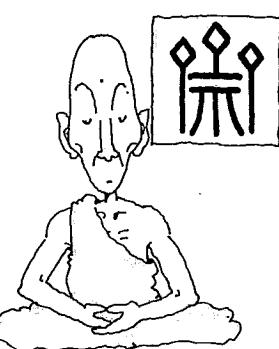
ること。

用例 天の配剤。(人)

間わざとは思えないほど世

の中や人の運命がうまく組

み合わされていること。)



なりたち 旧字体は齋。どこのえる意味の齊(さい)と、神の意味の示(しめす)との会意形声字。

心身をどとのえて神を祭

ること。

用例 天の配剤。(人)

身をきよめること。

物忌み。

神仏を祭

ること。

心身をきよめること。

身をきよめること。

物忌み。

神仏に仕える

前に、飲食や行

いを慎んで心

身をきよめること。

物忌み。

心身をきよめること。

物忌み。

神仏を祭

ること。

心身をきよめること。

物忌み。

神仏に仕える

前に、飲食や行

いを慎んで心

身をきよめること。

物忌み。

心身をきよめること。

物忌み。

心身をきよめること。